



「ゲスト」IDホールディングス（4709）船越 真樹社長

ITシステム運用のプロ集団 大手金融機関など多くの顧客にサービスを提供

ズバリ!! 木村佳子の社長対談

今回の対談の様子は、動画でもご覧いただけます。



Profile ●きむら・よしこ

ラジオ日経／個人投資家向けの経済情報番組キャスター出身。NPO法人日本IRプランナーズ協会「個人投資家のための企業IR研究会」座長、2008年同協会理事、2016年～2021年央まで理事長（現理事）。国際連盟認定/最上級テクニカルアナリスト。日本FP協会CFP。一級FP技能士（国家資格）。取引所、新聞社主催で基調講演を務める。YouTube「木村佳子の気になる銘柄」月～金正午配信中。



▲木村佳子氏（左）、IDホールディングス船越真樹社長（右）

船越社長が重視するのは「実績を着実に積み上げること」

個人が株式投資をする理由はいろいろだが、おおむね株価上昇場面での利益獲得や安定配当を得る、などが動機になる。しかし、一定の年齢を超えてくると、老後資金確保の観点から無理はできない。するとおおむね投資する対象は限られてくる。

高配当で名前もよく知られたブランド企業は利確チャンスに恵まれるが、利確後、次に仕込む銘柄に困る。買いやすい価格帯で着実に手堅く成長し、配当も安定漸増で気が付いたら財産株になっている。そんな銘柄はなかなか見つけにくいものだ。

そこで今回はIDホールディングス（証券コード4709）に注目したい。同社は情報サービス事業を営む。

金融機関を主な顧客にシステム運営管理47%、ソフトウェア開発33%、ITインフラ10%、サイバーセキュリティ・コンサルティング・教育9%、その他2%という事業構成だ。

情報サービス業というと漠然としている。IDホールディングスとは一言で言うところズバリ何をしている会社なのか？ 社長の船越真樹氏がわ

IDホールディングス【会社概要】	
本社	東京都千代田区五番町12-1番町会館
設立年月日	1969年10月20日
上場年月日	1998年11月11日
コード	4709（東1・4月からプライム市場に上場予定）
従業員数	2,531名（連結/2021年9月末現在）
決算	3月
単元株数	100株

かりやすく説明してくれた。

「身近な例でイメージしてもらうために取引先企業を一つのビルとするとその建物の守衛室みたいな事業をしているのがわが社です」（船越社長）

つまり、顧客のITシステムにおいて、バグ（不整合）が発生したり、セキュリティがリスクにさらされたとき、その発生をいち早くつかみ、該当企業に知らしめ、正常化に向けたオペレーションを行うビジネスである。

ビルの×号室に侵入者、火災発生などリスクを検知する

と、現場に駆け付ける警備会社のような役割を担う。

まさに警備業務をIT分野で請け負う。なくてはならない業務だが、「それを請け負える会社は業界にそう多くない」（船越社長）。同社には大きな強みだ。

金融機関のITオペレーション以外に、目下、国を挙げてのDX推進中であり、大中小を問わず企業はDXに取り組まざるを得ないため、今後の伸びしろは大きそうだ。「ただ、わが社は急激に大注目されるような展開ではなく、実績を着実に積み上げて

くことに重点を置いていきます。守衛室が目立つことを目指すのではなく、建物がたくさん建つに従い、リスク管理が必要となり、堅牢な守衛室が設置されていく、そういう成長イメージです」

充実の「はたらく環境」
ホワイト500にも認定

IT企業という過酷な労働現場をつい思い浮かべてしまうが、同社を訪問取材させてもらって驚いたのは、森をほうふつとさせるフォレストルームや海の家のようなオーシャンルームなど、フロアご

とに工夫が施されていること。「社員には好きな場所です仕事してもらおう」（船越社長）という。ギターを弾いている社員の姿もありストレスが少なそうに感じられた。それだけではなく、同社では早くから男性の育児休業、女性登用にも取り組み、働く環境を整えてきた。その結果、厚生労働大臣が認定するマーク「えるぼし」最高評価獲得や「健康経営優良法人（大規模法人部門）」ホワイト500（2020、2021年と連続認定されたりしている。



Profile ●ふなこし・まさき

1983年3月 慶應義塾大学商学部卒業
1995年4月 当社入社
1995年6月 当社取締役
1997年6月 当社代表取締役常務
1998年6月 当社代表取締役専務
2002年6月 当社代表取締役副社長
2003年4月 ㈱プライド代表取締役会長
2003年6月 当社代表取締役副社長兼副社長執行役員
2003年10月 当社代表取締役専務兼専務執行役員
2004年4月 艾迪系統開発(武漢)有限公司董事長
2005年6月 当社代表取締役副社長兼副社長執行役員
2006年1月 当社代表取締役社長(現任)
2012年8月 INFORMATION DEVELOPMENT AMERICA INC. Director and President (現任)
2014年1月 愛ファクトリー(株)代表取締役会長(現任)
2018年1月 ㈱IDデータセンターマネジメント代表取締役
2019年4月 ㈱インフォメーション・ディベロプメント代表取締役会長(現任)

「孫やひ孫を勤めさせたいという会社だね、と株主に言われるような会社でありたい」（船越社長）
船越社長の座右の銘は大個人投資家として知られた竹田和乎さんとの対話からの影響が大きい。
「竹田さんがわが社の株式をたくさん買ってくださっていました。」

対談を終えて…

同社株を2016年10月末に400円で100株購入していたら現在、株式分割で株数は225株に増え、期間中に得た配当金で元手は回収でき、850円の株価で計算すると持ち株評価は19万1,250円になる。日経平均株価が大きく値下がりしても同社株はその影響を受けにくい点もうれしい。ぜひ、投資対象としてマークしたい。

木村佳子（2022年2月7日取材）